

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6218488号
(P6218488)

(45) 発行日 平成29年10月25日(2017.10.25)

(24) 登録日 平成29年10月6日(2017.10.6)

(51) Int.Cl.	F 1
B 6 5 D 5/52 (2006.01)	B 6 5 D 5/52 G
B 6 5 D 5/54 (2006.01)	B 6 5 D 5/54 3 0 1 A

請求項の数 4 (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2013-165095 (P2013-165095)	(73) 特許権者	391019500
(22) 出願日	平成25年8月8日(2013.8.8)		朝日印刷株式会社
(65) 公開番号	特開2015-34019 (P2015-34019A)		富山県富山市一番町1番1号一番町スクエアビル
(43) 公開日	平成27年2月19日(2015.2.19)	(74) 代理人	100095430
審査請求日	平成28年7月25日(2016.7.25)		弁理士 廣澤 勲
(31) 優先権主張番号	特願2013-143292 (P2013-143292)	(72) 発明者	老田 哲夫
(32) 優先日	平成25年7月9日(2013.7.9)		富山県富山市大手町3番9号 朝日印刷株式会社内
(33) 優先権主張国	日本国(JP)		

審査官 西堀 宏之

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 表示機能付き包装用箱

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一枚のブランクシートから一体的に打ち抜かれた箱体形成片から成り、前記箱体形成片には互いに平行に接続され筒体に組み立てられる側面と、前記側面の一つに折罫線を介して接続され前記箱体形成片の一部に糊付けされて前記側面の筒体の開口部を閉鎖する蓋部と、前記蓋部に設けられ前記折罫線に連続する破断線で囲まれたPOP部と、前記POP部に設けられ商品についての説明が印刷された印刷部と、前記蓋部が設けられた側面と重ねられる部分から延出し前記蓋部の前記POP部の裏面に重ねられる裏板が設けられ、前記箱体形成片を組み立てて、前記破断線を切断して前記POP部を前記蓋部から切り離して前記折罫線を回転軸として上方に立ちあげた状態で、前記POP部を外して形成された外蓋片の開口部が前記裏板により閉鎖される表示機能付き包装用箱において、

前記蓋部は前記側面の一つに折罫線を介して接続される外蓋片と、前記外蓋片が設けられた前記側面に対向する前記側面に折罫線を介して接続され前記外蓋片の裏面に重ねられて糊付けされる内蓋片が設けられ、

前記外蓋片には、前記折罫線と、前記折罫線の反対側の端部の間を連結する一对の前記破断線が設けられ、前記破断線は、前記折罫線の両端部に各々連続し、前記折罫線から離れるに従い互いに近づくように設けられ、前記一对の破断線と、前記折罫線、前記端部で囲まれた部分が前記POP部となるものであり、

前記側面の側面どうしの接続方向の一方の端部に位置する前記側面の側縁部には、前記側面どうしの接続方向の他方の端部に位置する前記側面の前記表示機能付き包装用箱の内

10

20

側となる裏面に糊付けされて筒体を形成する糊付片が設けられ、前記糊付片の、前記側面どうしの接続方向に交差する端部に、前記POP部とほぼ同じ形状の前記裏板が設けられ、前記裏板は、組立状態で前記内蓋片と前記外蓋片の間に前記POP部に対向して位置し、前記内蓋片に糊付けされていることを特徴とする表示機能付き包装用箱。

【請求項2】

前記POP部にはフック等を挿通する透孔が設けられている請求項1記載の表示機能付き包装用箱。

【請求項3】

一枚のブランクシートから一体的に打ち抜かれた箱体形成片から成り、前記箱体形成片には互いに平行に接続され筒体に組み立てられる側面と、前記側面の一つに折罫線を介して接続され前記箱体形成片の一部に糊付けされて前記側面の筒体の開口部を閉鎖する蓋部と、前記蓋部に設けられ前記折罫線に連続する破断線で囲まれたPOP部と、前記POP部に設けられ商品についての説明が印刷された印刷部と、前記蓋部が設けられた側面と重ねられる部分から延出し前記蓋部の前記POP部の裏面に重ねられる裏板が設けられ、

前記箱体形成片を組み立てて、前記破断線を切断して前記POP部を前記蓋部から切り離して前記折罫線を回転軸として上方に立ちあげた状態で、前記POP部を外して形成された外蓋片の開口部が前記裏板により閉鎖される表示機能付き包装用箱において、

前記蓋部は前記側面の一つに折罫線を介して接続される外蓋片と、前記外蓋片が設けられた前記側面に対向する前記側面に折罫線を介して接続され前記外蓋片の裏面に重ねられて糊付けされる内蓋片が設けられ、

前記外蓋片には、前記折罫線上で前記折罫線の中心を挟んで両側2箇所に連続する環状の前記破断線が設けられ、前記破断線の外側には透孔が隣接して設けられ、前記破断線と前記折罫線で囲まれた部分は前記POP部となるものであり、

前記側面の側面どうしの接続方向の一方の端部に位置する前記側面の側縁部には、前記側面どうしの接続方向の他方の端部に位置する前記側面の前記表示機能付き包装用箱の内側となる裏面に糊付けされて筒体を形成する糊付片が設けられ、前記糊付片の、前記側面どうしの接続方向に交差する端部には、前記POP部より大きく前記外蓋片より小さい任意の形状の前記裏板が設けられ、前記裏板は、組立状態で前記内蓋片と前記外蓋片の間に挟持されている請求項1記載の表示機能付き包装用箱。

【請求項4】

前記破断線は、ジグザグの折線を描きながら半円形状に形成され、前記破断線の、中心部分は前記折罫線から最も離れ、中心部分の外側には半円形の透孔が隣接して設けられている請求項3記載の表示機能付き包装用箱。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、箱体形成片と一体に商品の説明が印刷されたPOP部が設けられている表示機能付き包装用箱に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、商品を収容して運搬や保管を行う包装用箱にPOP部を取り付けて、陳列するものがある。例えば、特許文献1に開示されている包装用ケースは、内容物を収納する包装用箱と、包装用箱の4面を筒状に覆う外装紙が設けられ、外包紙には印刷が施され、また切断誘導部によって囲まれたPOP部が設けられ、切断誘導部に沿って前記表示部を切起して展示または販売を行うものである。また、特許文献2に開示されている化粧箱は、一枚のブランクシートを切り込みおよび折り曲げて組み立てられ、側面または上部、下部における外面部の少なくとも一部にPOP部が設けられている。このPOP部には、POP図柄を表示し、箱体を組み立てた時にPOP部が箱体の外面部に平面状に重合されると共に、この重合状態から外側に引き離されて立体的に展開され、この展開状態でPOP部のPOP図柄が表示されるようにしたものである。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開平6-72433号公報

【特許文献2】特開2001-180656号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

上記背景技術の場合、特許文献1の包装用ケースは、包装用箱と別体の外装紙が必要であり、コストがかかり組立工程も手間がかかるものである。特許文献2の化粧箱は、箱体の部材の数が多く、ブランクシートを切り取る面積が大きく、また折り曲げて糊付けする組み立て工程が複雑であり、コストがかかり組立作業も面倒で手間がかかるものである。

10

【0005】

この発明は、上記背景技術の問題点に鑑みてなされたものであり、簡単な構造であり、商品の運搬や保管を行う時はシンプルな形状の箱体として商品を収容し、店頭では開封することなく包装用箱の一部をPOP部として組み立てて設け、消費者に強い印象を与えることができる表示機能付き包装用箱を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、一枚のブランクシートから一体的に打ち抜かれた箱体形成片から成り、前記箱体形成片には互いに平行に接続され筒体に組み立てられる側面と、前記側面の一つに折罫線を介して接続され前記箱体形成片の一部に糊付けされて前記側面の筒体の開口部を閉鎖する蓋部と、前記蓋部に設けられ前記折罫線に連続する破断線で囲まれたPOP部と、前記POP部に設けられ商品についての説明が印刷された印刷部と、前記蓋部が設けられた側面と重ねられる部分から延出し前記POP部の裏面に重ねられる裏板が設けられ、前記前記箱体形成片を組み立てて、前記破断線を切断して前記POP部を前記蓋部から切り離して前記折罫線を回転軸として上方に立ちあげた状態で、前記POP部を外して形成された外蓋片の開口部が前記裏板により閉鎖される表示機能付き包装用箱である。

20

【0007】

前記蓋部は前記側面の一つに折罫線を介して接続される外蓋片と、前記外蓋片が設けられた前記側面に対向する前記側面に折罫線を介して接続され前記外蓋片の裏面に重ねられて糊付けされる内蓋片が設けられ、前記外蓋片には、前記折罫線と、前記折罫線の反対側の端部の間を連結する一対の前記破断線が設けられている。前記破断線は、前記折罫線の両端部に各々連続し、前記折罫線から離れるに従い互いに近づくように設けられ、前記一対の破断線と、前記折罫線、前記端部で囲まれた部分は前記POP部となるものである。前記側面の側面どうしの接続方向の一方の端部に位置する前記側面の側縁部には、前記側面どうしの接続方向の他方の端部に位置する前記側面の前記表示機能付き包装用箱の内側となる裏面に糊付けされて筒体を形成する糊付片が設けられている。前記糊付片の、前記側面どうしの接続方向に交差する端部には、前記POP部とほぼ同じ形状の前記裏板が設けられている。前記裏板は、前記表示機能付き包装用箱の組立状態で前記内蓋片と前記外蓋片の間に前記POP部に対向して位置し、前記内蓋片に糊付けされている。

30

40

【0008】

さらに、前記POP部にはフック等を挿通する透孔が設けられているものでも良い。

【0009】

前記蓋部は前記側面の一つに折罫線を介して接続される外蓋片と、前記外蓋片が設けられた前記側面に対向する前記側面に折罫線を介して接続され前記外蓋片の裏面に重ねられて糊付けされる内蓋片が設けられ、前記外蓋片には、前記折罫線上で前記折罫線の中心を挟んで両側2箇所に連続する環状の前記破断線が設けられている。前記破断線の、中心部分は前記折罫線から最も離れ、中心部分の外側には半円形の透孔が隣接して設けられている。前記破断線と前記折罫線で囲まれた部分は前記POP部となるものである。前記側面

50

の側面どうしの連接方向の一方の端部に位置する前記側面の側縁部には、前記側面どうしの連接方向の他方の端部に位置する前記側面の前記表示機能付き包装用箱の内側となる裏面に糊付けされて筒体を形成する糊付片が設けられている。前記糊付片の、前記側面どうしの連接方向に交差する端部には、前記POP部より大きく前記外蓋片より小さい形状の前記裏板が設けられている。前記裏板は、前記表示機能付き包装用箱の組立状態で前記内蓋片と前記外蓋片の間に挟持されている。

【0010】

前記破断線は、ジグザグの折線を描きながら半円形状に形成され、この半円形状は前記外蓋片の中心に達しない大きさである。

【発明の効果】

10

【0011】

本発明の表示機能付き包装用箱は、簡単な構造で、商品の運搬や保管を行う時はシンプルな形状の箱体として商品を収容し、店頭では開封することなく包装用箱の一部をPOP部として組み立てて設け、消費者に強い印象を与えることができる。しかも、包装用箱の一部をPOP部として切断して引き起こしても開口部の裏面側に覆い部分があるため、開封されることがなく、収容された商品を保護することができる。

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】この発明の第一実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げた状態を示す斜視図である。

20

【図2】この発明の第一実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げる前の状態を示す斜視図である。

【図3】この発明の第一実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げた状態を示す縦断面図である。

【図4】この発明の第一実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げる前の状態を示す縦断面図である。

【図5】この発明の第一実施形態の表示機能付き包装用箱の展開図である。

【図6】この発明の第二実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げた状態を示す斜視図である。

【図7】この発明の第二実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げる前の状態を示す斜視図である。

30

【図8】この発明の第二実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げた状態を示す縦断面図である。

【図9】この発明の第二実施形態の表示機能付き包装用箱のPOP部を立ち上げる前の状態を示す縦断面図である。

【図10】この発明の第二実施形態の表示機能付き包装用箱の展開図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

以下、この発明の実施形態について図面に基づいて説明する。図1～図5はこの発明の第一実施形態を示すもので、この実施形態の表示機能付き包装用箱10は、厚紙等の1枚のブランクシートを打ち抜いて形成された箱体形成片12を組み立てて設けられている。図5は、箱体形成片12を表面から見た展開図であり、箱体形成片12は側面14, 16, 18, 20が順に連接されている。側面14, 16, 18, 20は、連接方向と直交する幅方向は同じ長さであり、連接方向の長さは側面16, 20が長くて互いにほぼ等しく、側面14, 18がそれより短くて互いにほぼ等しい。側面14の側縁部には、表示機能付き包装用箱10の組立状態で側面20の裏面に糊付けされる糊付片22が設けられている。糊付片22、側面14, 16, 18, 20は、各々折罫線30, 24, 26, 28で区切られている。

40

【0014】

側面14の、側面どうしの連接方向に対して直角な方向の一对の端部には、矩形のフラ

50

ップ 3 2 が折罫線 3 4 で区切られて各々設けられている。

【 0 0 1 5 】

側面 1 6 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一对の端部には、台形の内蓋片 3 6 が折罫線 3 8 で区切られて各々設けられている。内蓋片 3 6 は、折罫線 3 8 に接する幅が側面 1 6 と等しく、先端側の幅がそれより狭くなる台形状に形成されている。

【 0 0 1 6 】

側面 1 8 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一对の端部には、矩形のフラップ 5 8 が折罫線 6 0 で区切られて各々設けられている。

【 0 0 1 7 】

側面 2 0 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一方の端部には、矩形の外蓋片 6 2 が折罫線 6 4 で区切られて設けられている。外蓋片 6 2 には、折罫線 6 4 と、折罫線 6 4 の反対側の端部 6 2 a の間を連結する一对の破断線 6 6 が設けられている。一对の破断線 6 6 は、折罫線 6 4 の両端部に各々連続し、折罫線 6 4 から離れるに従い互いに近づき、端部 6 2 a 近傍では互いに平行となり、端部 6 2 a に対して直角に、端部 6 2 a に連続している。端部 6 2 a は、一对の破断線 6 6 が交差する部分がくぼんで面取りした形状となっている。一对の破断線 6 6 と、折罫線 6 4、端部 6 2 a で囲まれた部分は P O P 部 6 8 となるものであり、端部 6 2 a 近傍にはフック等を挿通する透孔 7 0 が設けられている。P O P 部 6 8 の透孔 7 0 以外の部分に、商品名や商品についての説明が印刷された印刷部 4 1 が設けられている。側面 2 0 の、折罫線 6 4 と反対側の端部には矩形の外蓋片 7 2 が折罫線 7 4 で区切られて設けられている。

【 0 0 1 8 】

糊付片 2 2 は、側面 2 0 とほぼ同じ形状であり、外蓋片 6 2 側の端部には、P O P 部 6 8 とほぼ同じ形状の裏板 7 6 が折罫線 7 8 で区切られて設けられている。なお、各折罫線には、折り曲げ易いように切り込みや破断線が設けられてもよい。

【 0 0 1 9 】

次に、この実施形態の表示機能付き包装用箱 1 0 の組立方法の一例について説明する。まず、糊付片 2 2 の表面に糊 8 0 を塗布し、折罫線 2 4 正折りし、次に折罫線 2 8 を正折りする。これにより、側面 2 0 の裏面は糊 8 0 により糊付片 2 2 の表面に糊付けされ、折り畳み状態となり、この状態で箱体形成片 1 2 による折り畳み状態の表示機能付き包装用箱 1 0 が出荷される。

【 0 0 2 0 】

次に、商品を収容し包装する工場において、折罫線 3 0、2 4、2 6、2 8 を各々 9 0 ° に正折りして四角形の箱体にする。箱体の外蓋片 7 2 側の端部の折罫線 3 4、6 0 でフラップ 3 2、5 8 を 9 0 ° に正折りする。そして内蓋片 3 6 の表面に糊 8 2 を塗布し、内蓋片 3 6 を折罫線 3 8 で 9 0 ° に正折りし、折罫線 7 4 で外蓋片 7 2 を 9 0 ° に正折りする。これにより、外蓋片 7 2 の裏面が糊 8 2 により内蓋片 3 6 の表面に糊付けされ、底面が形成される。次に組み立てられた側面 1 4、1 6、1 8、2 0 と底面からなる箱体の内側に商品を入れ、箱体の外蓋片 6 2 側の端部の、折罫線 3 4、6 0 でフラップ 3 2、5 8 を 9 0 ° に正折りする。そして内蓋片 3 6 の表面に糊 8 2 を塗布し、内蓋片 3 6 を折罫線 3 8 で 9 0 ° に正折りし、次に折罫線 7 8 で裏板 7 6 を折罫線 9 0 ° に正折りし、その後折罫線 6 4 で外蓋片 6 2 を 9 0 ° に正折りする。これにより、内蓋片 3 6 の表面の中心部分には裏板 7 6 の裏面が糊 8 2 により糊付けされ、内蓋片 3 6 の両端部分には裏板 7 6 から外れた外蓋片 6 2 の両端部分の裏面が糊 8 2 により糊付けされ、三層構造となり、上面が形成され、図 2、図 4 に示すように包装が完成する。このとき、外蓋片 6 2 の一对の破断線 6 6 は、裏板 7 6 の周縁部に一致する。なお、箱体形成片 1 2 を組み立てる順番はこれ以外でもよく、適宜変更可能である。

【 0 0 2 1 】

次に、この実施形態の表示機能付き包装用箱 1 0 の使用方法について説明する。まず、商品の運搬や保管を行うときは、図 2、図 4 に示すようにシンプルな箱体の状態にする。店頭で陳列する時は、印刷部 4 1 が設けられている外蓋片 6 2 を上方に向けて立たせて陳

10

20

30

40

50

列する。印刷部 41 をより強く印象付ける場合は、外蓋片 62 の端部 62a から一对の破断線 66 の間の部分に指を掛け外側に引き起こし、一对の破断線 66 を切断し、折罫線 64 を回転軸として POP 部 68 を立ち上げる。POP 部 68 は図 1、図 3 に示すように、側面 20 とほぼ平行となり、印刷部 41 が上面から突出して見やすくなる。外蓋片 62 の裏面には、POP 部 68 以外の両端部分が糊 82 で内蓋片 36 に糊付けされているため、POP 部 68 は接着されず自由に立ち上げられ、POP 部 68 を外して形成された外蓋片 62 の開口部は裏板 76 により閉鎖され、これにより箱体の上面は閉鎖された状態を維持することができる。POP 部 68 には透孔 70 が設けられ、透孔 70 にフック等を挿通して吊り下げて陳列してもよい。

【0022】

この実施形態の表示機能付き包装用箱 10 によれば、簡単な構造で商品の運搬や保管を行う時はシンプルな箱体として商品を収容し、店頭では POP 部 68 を引き起こしてセットし、商品についての説明を印刷した印刷部 41 を見やすいように提示し、消費者に強い印象を与えることができる。POP 部 68 を組み立てる際は、内蓋片 62 の端部 62a の、一对の破断線 66 の間の部分に指を掛けて破断線 66 を切断するという簡単な操作で、POP 部 68 を上面から外すことができ、切断の開始が容易であり便利である。POP 部 68 を上面から外しても裏板 76 と内蓋片 36 が上面を閉鎖しているため、開封されることがなく、商品を確実に包装することができる。POP 部 68 を立てなくても上面に印刷部 41 が位置しているため POP 部 68 を立てなくてもよく、店舗の状況に合わせて POP 部 68 を立てるか選択することができる。また、POP 部 68 は透孔 70 が設けられて

【0023】

次に、この発明の第二実施形態について図 6 ~ 図 10 に基づいて説明する。なお、ここで、上記実施形態と同様の部材は同様の符号を付して説明を省略する。この実施形態の表示機能付き包装用箱 84 は、厚紙等の 1 枚のブランクシートを打ち抜いて形成された箱体形成片 86 を組み立てて設けられている。図 10 は、箱体形成片 86 を表面から見た展開図であり、側面 14, 16, 18, 20 が順に接続されている。側面 14, 16, 18, 20 は、接続している幅方向は同じ長さであり、接続方向の長さも互いにほぼ等しい。側面 14 の側縁部には、表示機能付き包装用箱 84 の組立状態で側面 20 の裏面に糊付けされる糊付片 88 が設けられている。糊付片 88、側面 14, 16, 18, 20 は、各々折罫線 90, 24, 26, 28 で区切られている。

【0024】

側面 14 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一对の端部には、矩形のフラップ 32 が折罫線 34 で区切られて各々設けられている。

【0025】

側面 16 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一对の端部には、台形の内蓋片 92 が折罫線 94 で区切られて各々設けられている。

【0026】

側面 18 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一对の端部には、矩形のフラップ 58 が折罫線 60 で区切られて各々設けられている。

【0027】

側面 20 の、側面どうしの接続方向に対して直角な方向の一方の端部には、矩形の外蓋片 96 が折罫線 98 で区切られて設けられている。外蓋片 96 には、折罫線 98 上で折罫線 98 の中心を挟んで両側 2 箇所に連続する環状の破断線 100 が設けられている。破断線 100 は、ジグザグの折線を描きながら半円形状に形成され、外蓋片 96 の中心に達しない大きさの半円形状である。破断線 100 の、中心部分は折罫線 98 から最も離れ、中心部分の外側には半円形の透孔 102 が隣接して設けられている。破断線 100 と折罫線 98 で囲まれた部分は POP 部 104 となるものであり、商品名や商品についての説明が印刷された印刷部 41 が設けられている。側面 20 の、折罫線 98 と反対側の端部には矩

形の外蓋片 106 が折罫線 108 で区切られて設けられている。

【0028】

糊付片 88 は、側面 20 とほぼ同じ形状であり、外蓋片 96 側の端部には、台形状の裏板 110 が折罫線 112 で区切られて設けられている。裏板 110 は折罫線 112 に接する幅が糊付片 88 と等しく、先端側の幅がそれより狭くなる台形状に形成され、折罫線 112 と、折罫線 112 と反対側の端部の間の長さは、外蓋片 96 より少し短く形成されている。

【0029】

次に、この実施形態の表示機能付き包装用箱 84 の組立方法の一例について説明する。まず、糊付片 88 の表面に糊 114 を塗布し、折罫線 24 正折りし、次に折罫線 28 を正折りする。これにより、側面 20 の裏面は糊 114 により糊付片 88 の表面に糊付けされ、折り畳み状態となり、この状態で箱体形成片 86 による折り畳み状態の表示機能付き包装用箱 84 が出荷される。

10

【0030】

次に、商品を収容し包装する工場において、折罫線 90, 24, 26, 28 を各々 90° に正折りして四角形の箱体にする。箱体の外蓋片 106 側の端部の折罫線 34, 60 でフラップ 32, 58 を 90° に正折りする。そして外蓋片 106 の裏面に糊 116 を塗布し、内蓋片 92 を折罫線 94 で 90° に正折りし、折罫線 108 で外蓋片 106 を 90° に正折りする。これにより、外蓋片 106 の裏面が糊 116 により内蓋片 92 の表面に糊付けされ、底面が形成される。次に組み立てられた側面 14, 16, 18, 20 と底面からなる箱体の内側に商品を入れ、箱体の外蓋片 96 側の端部の、折罫線 34, 60 でフラップ 32, 58 を 90° に正折りする。そして外蓋片 96 の裏面の、折罫線 98 と反対側の端部近傍に糊 120 を塗布し、内蓋片 92 を折罫線 94 で 90° に正折りし、次に折罫線 112 で裏板 110 を折罫線 90° に正折りし、その後折罫線 98 で外蓋片 96 を 90° に正折りする。これにより、内蓋片 92 の表面の折罫線 94 近傍に外蓋片 96 の裏面が糊 120 により糊付けされる。裏板 110 は外蓋片 96 より短いため糊付けされず、内蓋片 92 と外蓋片 96 に挟まれて重ねられた三層構造となり、上面が形成され、図 7、図 9 に示すように包装が完成する。

20

【0031】

次に、この実施形態の表示機能付き包装用箱 84 の使用方法について説明する。まず、商品の運搬や保管を行うときは、図 7、図 9 に示すようにシンプルな箱体の状態にする。店頭で陳列する時は、印刷部 41 が設けられている外蓋片 96 を上方に向けて立たせて陳列する。印刷部 41 をより強く印象付ける場合は、外蓋片 96 の透孔 102 に指を入れて POP 部 104 を外側に引き起こし、破断線 100 を切断し、折罫線 98 を回転軸として POP 部 104 を立ち上げる。POP 部 104 は図 6、図 8 に示すように、側面 20 とほぼ平行となり、印刷部 41 が上面から突出して見やすくなる。外蓋片 96 の裏面には裏板 110 が外蓋片 96 と内蓋片 92 に挟まれて位置しているため、透孔 102 は裏面から裏板 110 により閉鎖されている。POP 部 104 を外して外蓋片 96 の開口部が透孔 102 に連通して大きくなるが、開口部の周囲に切り残された外蓋片 96 により裏板 110 は押えられ、開口部を閉鎖し、箱体の上面は閉鎖された状態を維持することができる。

30

40

【0032】

この実施形態の表示機能付き包装用箱 84 によれば、上記実施形態と同様の効果を有するものである。POP 部 104 を引き起こすとき、透孔 102 に指を入れて引き起こすことができ、破断線 100 の切断の開始が容易で作業がしやすいものである。POP 部 104 はジグザグの折線で囲まれた半円形状に形成され、印象的であり消費者の関心を引くことができる。

【0033】

なお、この発明は上記各実施形態に限定されるものではなく、各側面の大きさや形状、底部の構造等、自由に変更可能である。POP 部の大きさや数、位置、形状等は適宜変更可能である。箱体形成片の、側面や蓋片、糊付片等の接続する順番は異なるものでもよく

50

、箱体形成片を組み立てる順番も適宜変更可能である。包装用箱の素材は紙以外にプラスチック等他の素材でもよい。各折罫線には、折り曲げ易いように破断線が設けられてもよい。

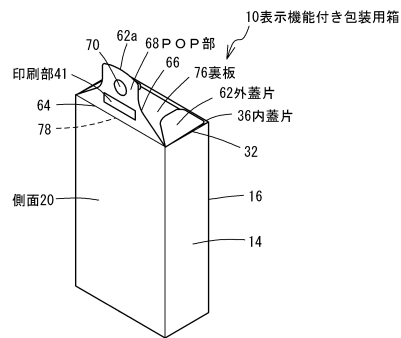
【符号の説明】

【 0 0 3 4 】

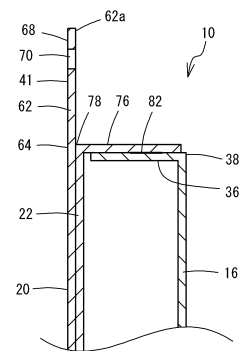
- 10, 84 表示機能付き包装用箱
 12, 86 箱体形成片
 14, 16, 18, 20 側面
 22, 88 糊付片
 32, 58 フラップ
 36, 92 内蓋片
 41 印刷部
 62, 72, 96, 106 外蓋片
 64, 98 折罫線
 66, 100 破断線
 68, 104 P O P 部
 76, 110 裏板
 80, 82, 114, 116, 120 糊

10

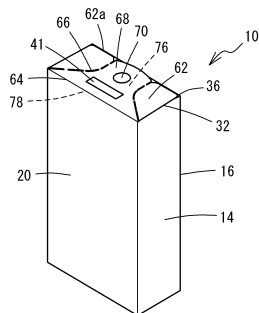
【図 1】



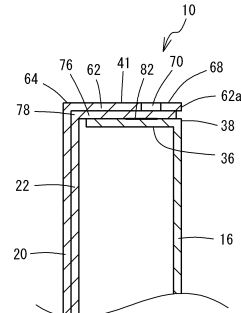
【図 3】



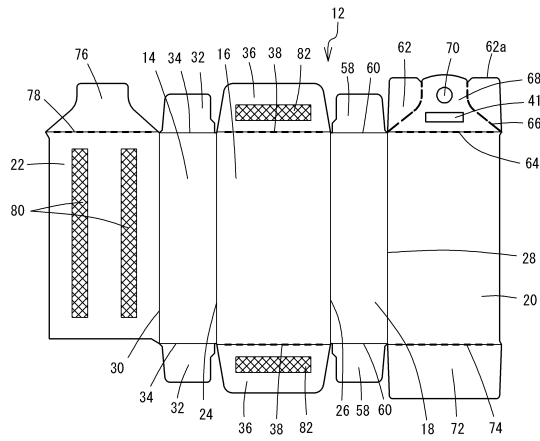
【図 2】



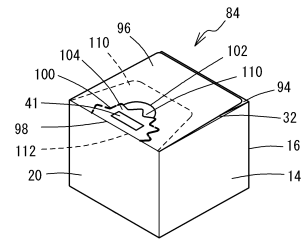
【図 4】



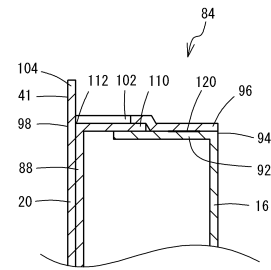
【図 5】



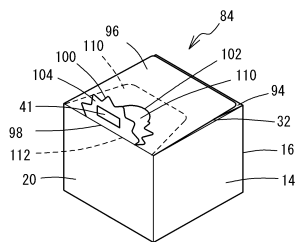
【図 7】



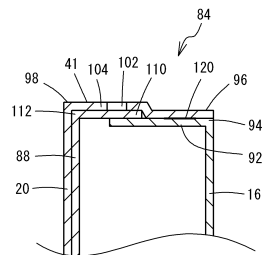
【図 8】



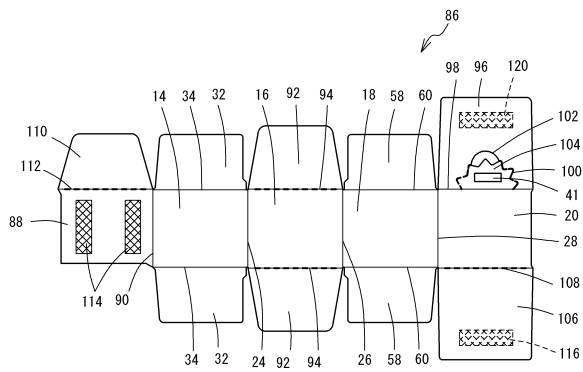
【図 6】



【図 9】



【図 10】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2007-076722(JP,A)
特開2009-166860(JP,A)
特開2010-030635(JP,A)
特開2001-287734(JP,A)
実開平05-054237(JP,U)
登録実用新案第3000842(JP,U)
実開平03-081819(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B65D 5/00 - 5/76